

ストローが無くても飲める紙パック「ECO BEAK®」拡大中

石塚王子ペーパーパッケージング株式会社（本社：兵庫県神崎郡、代表取締役社長：田村亮一）は、環境配慮型カートンとして容器から直接飲むことが出来る小型紙パックを市場展開しております。2023年4月に長崎県佐世保市での採用を皮切りに、栃木県、福岡県、富山県と着実に採用エリアを拡大中です。

「ECO BEAK®」は従来の学校給食用紙パックとは異なり、開封性と飲みやすさの向上を目的とし3つの特徴を加えています。

- ① 開封する側の屋根部に傾斜のエンボス加工を施すことで掴みやすさを向上。また触覚で飲み口側が識別出来るユニバーサルデザインとしての効果もあります。
- ② 飲み口側の胴部中央部に補助罫線を施すことで、飲み口を開封した際に飲み口から胴部にかけて内容物を多く蓄えることが出来、内容物が勢いよく流れ出ずコップのような感覚で飲用出来る工夫を施しています。
- ③ トップシール部の形状に工夫を施し、シール強度と開封のし易さを両立させています。

